

両支持層の政治理念

米国で大統領選挙が行われた。

投票は分からぬ、  
郵便投票の扱  
道を見ていると、  
いや開票の遅れなどで、結果が  
決まるまでに少し時間がかかり  
そうな様子だが、さてどうだろう  
か。

学習院大教授(国際経済学) 伊藤 元重

トランプ大統領が再選されれば現在の政策が継続されることになるが、バイデン氏が大統領になれば多くの政策が大きく変わることになるだろう。ただ、どちらが大統領になつても全く変わらないことがある。これが政治的にも社会

的にも大問題である。それは米国社会の分断である。選挙報道を見ていると、何がなんでもトランプ大統領を支持するという人が4割近くおり、何がなんでもトランプ大統領を支持しないという人が同じくらいいる。これらの固定票とも言える人たちが米国の有権者の大きな割合を占めているので、残りの少ない浮動票が雌雄を決することになる。

## 米国社会の「分断」

主党支持者の主張と真っ向から対立する考え方を持つている人が多い。活動への対応が必要と考え、医療の国民皆保険を支持する。銃規制に前向きであり、中絶の権利も認めるべきだと考えている人が多い。共和党支持者、とりわけトランプ大統領の支持者の中には、地球気候変動に関するパリ協定からの離脱を支持し、銃規制や中絶でも民

米国社会の「分断」

米国政治の分断は近年さらに激しくなっているようだ。特にトランプ大統領になつてからはその傾向が著しい。民主党支持層と共和党支持層の政治理念は大きく乖離する。どちらのサイドも、自分たちの考え方方に近い主張を繰り返すうちに、エグサイトやテレビ局の番組を好み、フェイスブックやツイッターなどのSNSでも自分と同じ主張支持者の中から対立する考え方を持つている人が多い。

SNSはより多くの人が多様な意見をやりとりする場となること期待されていたが、現実には社会の分断をあおる結果になつてゐる。社会が分断することが好みではないことは言うまでもない。誰が大統領になつても国内で意見の分断があれば、政策で大きく前に進むことは難しい。内政での調整に追われ、米国が国際社会でリーダーシップを取ることも難しくない。

高齢者と地方、正規労働者と非正規労働者など、一つ間違えると大きな対立を生むことになりかねない。特にコロナ危機のような厳しい経済社会環境が続くと、社会の分断が進む危険も高まることがある。米国を反面教師として、日本の社会が分断されていかないような政治の運営が進むことを期待したい。

張の書き込みだけを読み、リツイートする傾向が強い。要するにそぞれのサイドで自分たちと同じ考え方を持つている人の間で盛り上がり、別のサイドの人たちの主張には耳を傾けようとしない。

国際社会の舵取り困難

社会が分断されていくことは、どこの国でも好ましいことではない。日本は米国とは違うが分断の種がないわけではない。若者と

るだろう。トランプ大統領の時代にすでにそうした流れが加速化したようだが、どちらが大統領になつてもこの先こうした流れが続くのだろう。

\*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。  
無断転載、複製を禁じます。